

地域情報誌  
2014年12月  
(No18)



# DE すがね

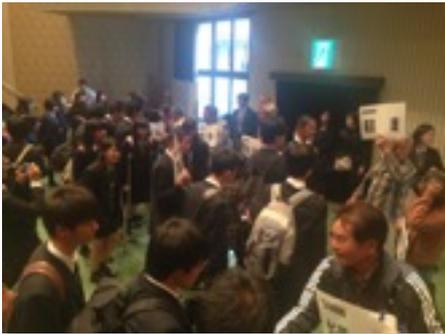
〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会



## おいでませ～！須金



10月28日～30日、東京都立清瀬高校の2年生が、須金に民泊に来ました！



(対面式の様子)



(須金ブドウでおもてなし)



(今回の寄稿者、福田さんと)



(涙、涙の離村式)

### 東京の清瀬高校の民泊を受けて

広瀬のふれあいセンターへ迎えに行った時、かわいい女子生徒4人が私の処へ近寄って来て、にっこり笑って「よろしくお願いします」と言ってくれました。あまりにも可愛くて、思わず涙が出てしまいました。

1日目は散歩（石引さん制作の看板を見学）したり、Wiiで遊んだり…。2日目は、午前中、福田麗子さん指導のもと、押し花のキーホルダーを作ったり、梨ジャムを作ったりして、午後はそれぞれの体験学習へ。夜は皆で写真を撮ったり、メールアドレス交換をしたりと、2泊3日の滞在期間は、あっという間に過ぎてしまいました。

3日目、美和まで見送りに行った時は、あの子たちと別れるのがつらくて、涙が止まりませんでした。でもその日の夜早速彼女達からメールが届きました！

今回、民泊を受け入れ、本当に良かったです。娘が、また増えました（笑）

(文/福田幸恵)

## 人物紹介 広実久夫さん（北山）

Q 1. 北山はいつ来ても本当にきれいなところですね。

A 1. 今の北山は2軒3人になってしまい、清掃活動も難しくなっていますが、定期的にまちに出ている若い衆が家族連れで帰ってきて、市道や農道、お宮の手入れをしてくれているんです。その後は、持ち寄った酒や肴で一杯やる（笑）。いくら飲んでも喧嘩することなく、仲良く団結していることが北山のいいところであり、私の自慢でもあります。

Q 2. 若い頃からの話を聞かせてください。

A 2. 小さい頃から飛行機に乗りたくて、予科練に行きたかったのですが、霞ヶ浦で予科練の教官をしていた15歳年上の従弟から、絶対に来てはダメだと言われました。今思えば彼の優しさだったのかもしれませんが。それでも、飛行機に乗りたくて、昭和19年、民間航空会社である満州航空株式会社に14歳で入り様々な訓練を受けました。終戦後の昭和21年に帰国し、森林組合の架線技士として林業に携わり、その後、山陽土木工業という会社を運営し、66歳で現役を引退しました。

いい思い出として、60歳を前に、湯田温泉で満州時代の仲間と「同期の桜会」を行いました。8人が集まりましたが再会した瞬間、人目も憚らず抱き合い、涙したものです。彼らは私の財産です。

Q 3. 先日、6年に一度の「廣實申し」が行われましたね。

A 3. 午年は向畑での催行です。満州から帰国後、ただ一度を除き、ずっと参加してきましたが、今回は体力的に厳しく、若い衆に任せました。向畑もそうですが、高齢化で人数を集めるのも難しくなっていますし、経費もかかります。でも、400年も続く自分達の“文化”として、今後も1回でも長く継続し、保存していつまでもらいたいと願っています。

Q 4. 須金の若者に向けて一言お願いします。

A 4. 早くに両親を亡くし、若い頃から私もかなり苦勞しました。だから彼らの大変さも分かってやれると思いますし、応援も協力もしていきたいです。私の口癖は、「みんな仲良く、団結しないといけない」です。頑張ってください。



(北山にて)



(満州に渡った14才当時)



(今年の「廣實申し」の様子)

↑ 写真提供：石村浩一郎さん



## 須金PR看板堂々完成！！

(←完成！記念の集合写真)



(解説中の石引さん→)

新えびす橋付近にある、須金ぶどう梨生産組合の古い看板が、装いも新たに須金PR看板として生まれ変わりました。地域の中で、大きな看板を何か活用できないかという意見があり、上市の石引西介さんにカスタムペイントの技術を生かしてもらい、須金をPRする看板を作ることになりました。

そして、約1ヶ月の制作期間を経て、10月11日(土)に除幕式を迎えることができました。レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晚餐」を基調に、食卓には須金特産の梨、ぶどう、徳山巨峰ワインのシュガーネが溢れ、ストリート系の字体で「ありがとうSUGANE」と書かれた、圧巻の作品に仕上がっています。須金の名所がまた一つ増え、まちがどんどん元気になってきます。

なお、この作品制作には、地域からたくさんのご賛同、ご支援をいただきました。ご芳名を掲載させていただきますと共に、改めまして、厚くお礼申し上げます。

### < ご支援をいただいた皆様 >

#### ●企業・個人

- ・オートテックKEN様 ・鹿野興産様 ・向陽様 ・東和開発様 ・なかや様
- ・内山浩昭様 ・依雅香様 ・二家本美津子様 ・福田敏明様 ・米澤純子様

#### ●農園関係

- ・日の出農園様 ・ひふみ農園様 ・五郎丸農園様 ・広実農園様 ・山本ぶどう梨園様 ・吉安農園様
- ・ふるた梨ぶどう園様 ・福田フルーツパーク様 ・梨と葡萄のやまがた農園様 ・松田観光農園様
- ・今田巨峰園様 ・ミタケフルーツ様 ・あゆみ農園様 ・須金ぶどう梨生産組合様

### 秋祭りお礼の言葉



先日、我が家の次男が神子として須金の街を歩きました。息子たちは、自然がいっぱいで、色々な動物に出会える須金大好きなので、毎年、GWや夏休みを利用して帰省しています。お祭りの日、神子になった息子を抱えて、神輿の後を歩いていると、沿道の方が神子に手を合わせて見送って下さいました。最初は神子の衣装に緊張していた息子でしたが、下市付近を歩く頃には、嬉しそうに沿道の方に手を振っていました。

息子が神になるという神社の行事を、私たち家族は帰省前から楽しみにしていましたが、これほどまでに須金の皆さんに温かく見守り、祝っていただけたことに、大変感謝しました。神子を経験した男の子として、強く、正しく、やさしい大人に成長するよう育てていきたいと思ひます。お世話になった須金のみなさん、本当にありがとうございました。(文/福田佳生)

## 参加者募集！しめ飾り作り教室

▽日 時 平成26年12月20日(土) 10:00~

(受付開始9:30~、14時終了予定)

▽場 所 須金農村環境改善センター 多目的ホール

▽参加費 300円(保険料、材料代)

▽定 員 50名

▽持参物 昼食、ハサミ、ペンチ等

▽申込先 須金公民館 ☎86-2201

※12月15日(月)までにお申し込みください。



(昨年の様子)

## 須金地区主な行事予定 (12～1月)

### 12月

- 12月3日（水）小学校地域参観日  
12月5日（金）高齢者ふれあい忘年会  
10:30～  
12月8日（月）コミュニティ理事会  
12月14日（日）それーねの日  
12月19日（金）大好き須金  
ふれあい持久走大会  
12月20日（土）しめ飾り作り教室  
12月24日（水）小学校終業式  
12月29日（月）、30日（火）  
消防団夜警

### 1月

- 1月5日（月）消防出初式  
1月9日（金）小学校地域参観日  
1月11日（日）どんど焼き  
それーねの日  
1月13日（火）コミュニティ理事会  
1月25日（日）須金市日 10:00～  
1月27日（火）韓国高校生民泊受入

### ※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



## 特別連載 須金歴史探訪

(第18回)

### 金峰（みたけ）の由来

文 高橋 勝己

金峰村も、昔は紀の村の一部で河吉村といわれていました。神亀5年（728年）この土地の開墾を行っていた権代太郎左衛門、貞森入左衛門らが大和の国、吉野の金峯（きんぷ）山の蔵王権現を勧請し、建立したのが金峰神社です。蔵王権現を祭った神社を、御嶽神社と称することから、その読みを持ってきたといわれています。また、もともと「カルサ山」と呼んでいた山の名を、金峯山にちなんでそのように改め、「みたけやま」と称するようになりました。



写真：金峰神社

### 編集後記

今年も、残すところあと1ヶ月。2014年は皆さんにとってどんな1年だったでしょうか？DEすがねも皆さんのご協力のもと、1年を終えることができました。来年も、より愛される地域情報誌を目指し、頑張ります！（須田 浩史）